

保護者等向け

児童発達支援評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		1	走り回れるくらい広いスペースで満足です
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13			4	送迎の時は足りてないと感じる特性を理解し、寄り添ってけている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1		5	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15			2	施設が新しく明るく過ごしやすいようです。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	16	1			
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16			1	
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	17				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	1	9	
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				とても丁寧に説明してもらえた
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14			2	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	5	3	4	4	きちんと行われている
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16				毎回、その日の様子を連絡帳に詳しく書き添えて欲しい
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11		2	3	いつもありがとうございます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	5	8	
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1		3	相談すると真摯な対応で応えてくれる	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			LINEや連絡帳など伝達がスムーズに行われている
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1		1
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15	1		他の生徒さんの物が混じって入っていたことがあった
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9		1	6
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			9
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1		通所の日は楽しそう。「行きたくない」とは言うが、行くと楽しそうにしてる
	23	事業所の支援に満足しているか	16			総合的に満足

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	15		個別支援できるスペースの確保をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	15		生徒数にあった人員を配置できるようにしている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	15		合間を見て清掃することを心掛けている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	4		パートの方にも参加してもらえるよう工夫する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15			保護者のご意見に耳を傾け、業務改善につなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	6	便りにて行っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	5	フランチャイズ本部の方に相談している	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15		業務開始前後の時間を利用している。	研修会の時間を作ることが課題。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15		保護者の聞き取りを丁寧に行っていくことで作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	1		具体的な支援内容が明示されていると思う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15		指導員が支援計画を確認し理解できるよう連絡している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	15		毎週チームでの話し合いを行っている	指導員の立案を積極的に取り入れ、指導員の意欲につなげたい
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	15			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15		朝礼にて打ち合わせしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	9	夕礼にて打ち合わせしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15			変更したことへの周知が徹底されていない場合があるので、注意する
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	15				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	15		関係機関との連携を大切にしている。療育での様子を伝えられている。	定期的に行えてはいないが、機会があった場合意識している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		15			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		15			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15		幼稚園や学校との連携を大切にしている。必要に応じて電話連絡等行い、様子を伝えあっている。		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	4			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	10			声掛けはしているが、返答は良くありません
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	9			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	11			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15		契約時に丁寧に説明している。	変更がある時には丁寧に伝える	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	15				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15		定期的な面談や電話、送迎時に話を聞くなど、必要に応じて対応している。		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		15		コロナ禍の為、難しい	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15		活動の様子を掲載した手紙を配布。活動に理解につなげている。		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	15		個人情報の取り扱いには十分に注意をしている	個人のミスが散見するのでチームでカバーしていく	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	4			

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	15	定期的な避難訓練を行い、地震 火災 不審者対策の内容で訓練している	保護者にも、活動の内容を伝えていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	アセスメントを行う際、必ず聞いている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	15	要注意して管理している	ダブルチェックを習慣にしていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。